

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	健康で互いに支え合うまちづくり	分野(章)番号	3
政策名(項)	地域ぐるみの健康づくりの推進	政策(項)番号	I
施策名(目)	健康かなえる環境づくりの推進	施策(目)番号	③
担当課	保健福祉課	担当課長	谷津 俊幸

1. 施策の基本方針

施策目的	・町民みんなが心も体も元気で長生きするために、一人ひとりが健康に関心を持ち、健康づくりの輪を広げることを目指す地域ぐるみの健康づくりの推進を図るため、生活を楽しみながら自分らしい生き方ができるような環境整備を行うことを目的とする。
------	---

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)							
	・老朽化が目立つ保健センターについて、健康推進施設としての機能維持が必要である。		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の急速な進展に伴い、介護の認定申請が年々増えるなど、介護を必要とする高齢者の増向が見られる。 ・生活様式の多様化により、不適切な食生活や運動不足、ストレスなどを要因として生活習慣病が増加しており、全死因に占める割合も年々高くなっている。 ・国の第二次健康日本21計画及び県の第二次みやぎ21健康プランにより、今後の健康づくりの基本方針が示された。 ・町でも第二次丸森町健康日本21地域計画(第二次げんまる計画)を策定し、これまでの取組みを踏まえ引き続き町民・地域・行政等が連携して健康づくりを進めていくこととした。 						

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	備考(他団体状況含む)	
主要	保健センター開所日数(日)	目標			243日	243日	243日		
		実績	201日	229日	248日			243日	
		達成率			102%				
参考①		目標							
		実績							
		達成率							
参考②		目標							
		実績							
		達成率							
参考③		目標							
		実績							
		達成率							
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		2,807千円	2,515千円	3,091千円	2,524千円	2,490千円	2,490千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	2,807千円	2,515千円	3,091千円	2,524千円	2,490千円	2,490千円
従事者数	正職員	0.35人/年	0.20人/年	0.10人/年	0.10人/年	0.10人/年	0.10人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	2,374千円	1,361千円	679千円	679千円	679千円	679千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		317千円	185千円	91千円	91千円	91千円	91千円
トータルコスト		5,498千円	4,061千円	3,861千円	3,294千円	3,260千円	3,260千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	a	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・開庁日である平日に加え、健診等による休日(土曜日)の活用を図ったことにより、目標値を上回ったことから、成果は非常に高い。
	施策成果向上の可能性	c	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・保健センターは、各種の健診や相談事業等により年間を通して使用している現状であり、休日における開所についてもある程度進めていることから、今後成果を向上させる可能性はあまりない。
	貢献度	c	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・保健センターは、町民の健康維持増進上必要な施設ではあるが、地域ぐるみでの健康づくりという観点からは間接的な貢献となることから、貢献度はやや低い。	

5. 施策の課題

課題	・建設から25年近く経過しているため、空調設備やインテリア類などの内部備品類の故障・劣化が目立ってきていることから、計画的な修繕を行う必要がある。
----	---

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・計画に基づいた修繕を進めて施設の有効活用を図り、適正な管理を行う。
------	------------------------	---------	------------------------------------

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。